

令和 6 年度全国ビジネス計算教育研究協議会 報告書

報告者：徳島県立小松島西高等学校 教諭 大久保 友博

1. はじめに

全国商業高等学校協会主催の「ビジネス計算・ビジネス文書教育研究協議会」が開催され、商業教育の充実と検定試験の改定、競技大会の運営改善について議論が行われた。本報告書では、会議の内容を詳細にまとめる。

2. ビジネス計算部門

2.1 検定試験の実施報告

- ・近年、受験者数の減少が見られる。
- ・受験環境の改善が求められており、特に CBT（コンピュータ試験）導入が進められている。
- ・一部の試験で採点基準が見直され、より実務に即した内容に変更。

2.2 検定試験の変更点

- ・令和 8 年度から「電子記録債権割引」の出題を追加。
- ・採点基準の細分化と明確化を実施。
- ・試験制度の公正性を確保するため、新たな審査システムを導入予定。

【令和 7 年度の変更点】

- ・問題冊子の表紙について
「試験場校」の記入欄を削除する。

- ・問題袋について
全商 Web システムの更新に伴いレイアウトを変更する。

【令和 8 年度の変更点】

- ・ビジネス計算部門 1 級・2 級「手形割引」出題改定について
時代の流れに対応させるため、「手形割引」から「電子記録債権割引」に改定する。なお、3 つの問題出題改定案を従来の問題と比較すると、以下のようにまとめることができる。

	従 来	改 定 後
(1)	約束手形	電子記録債権
(2)	額面¥〇〇の手形を割り引くと…	電子記録機関へ譲渡記録の請求を行うと…

参考資料：01 資料.pdf（3 頁、5 頁）

2.3 全国ビジネス計算競技大会の運営改善

競技時間の見直し：一部競技で時間配分の不均衡が指摘され、次回大会で調整予定。

座席配置の改善：視認性や競技環境の公平性を考慮し、適切な座席配置を検討。

音響設備の向上：会場によって指示の聞き取りづらさが異なるため、音響設備の調整を検討。

第 71 回大会の総括

昨年の大会は、事前の準備や円滑な進行により、スムーズに実施することができた。

特に、以下の点が評価された。

評価された点	改善すべき点
✓ 会場のスムーズな入場管理	▲観覧席でのマナー向上（私語やスマートフォンの使用制限）
✓ 大会進行のスムーズな運営	▲試合中の音響設備の調整（競技者が聞き取りやすい環境の整備）
✓ 参加者の協力による秩序ある環境	▲競技時間の適正化（特に応用計算部門の時間設定）

これらの課題について、次年度の大会では適切な改善策を実施し、より良い大会運営を目指す。

3. 新システムに関するお詫びと改善について 以下全商協会よりコメント

昨年導入した新 Web システムに関しまして、皆様には多大なるご迷惑をおかけしましたことを、改めてお詫び申し上げます。このシステムは、検定試験の申し込みから合格証書の発行、受験状況の管理までを一元化することで、先生方の負担軽減を目的として導入いたしました。しかしながら、運用開始後に発生したさまざまな課題により、かえって負担が増えてしまう状況が一部見受けられました。現在、システムの改善を進めておりますが、より円滑な運用を実現するまでには今しばらくお時間をいただきますことをご了承いただきたく存じます。

4. 検定試験の方針と今後の展望

全商協会では、令和 4 年度より新学習指導要領に対応した検定試験を順次実施している。これにより、新時代のビジネス社会において求められる「総合的なビジネス実践力」を測定・証明することを目的とし、以下の要素を重視している。①専門知識の習得 ②思考力・判断力・表現力の向上 ③技能の習得と応用力の強化

商業を学ぶ生徒たちが全商の検定試験に取り組むことで、専門知識の向上を図り、明確な目標を持って学習に励むことができるよう支援していく。

5. CBT 化の導入について

令和 5 年 3 月 18 日付の答申「社会全体のデジタル化・オンライン化・DX の進展に対応した検定試験のあり方について」に基づき、簿記およびビジネスコミュニケーションの 2 つの検定試験において、CBT（Computer-Based Testing）方式の試験を試行した。

その結果を踏まえ、昨年の理事会において、CBT 方式の本格導入が決定した。

CBT 化のメリット	CBT 化のデメリット
・いつでも受験可能（受験者の利便性向上） ・採点・集計業務の省略（迅速な結果提供） ・試験運営の効率化	・受験料の値上げ（運営コストの増加） ・各学校での受験環境の整備（PC・ネットワーク環境の確保）

6. 今後の日程

令和 7 年度 検定試験・全国大会のスケジュール

日 程	イベント
令和 7 年 6 月 15 日	第 150 回 ビジネス計算実務検定試験
令和 7 年 7 月 23 日	全国大会打ち合わせ・準備
令和 7 年 7 月 24 日	第 72 回 全国ビジネス計算競技大会（横浜武道館）
令和 7 年 11 月 9 日	第 151 回 ビジネス計算実務検定試験
令和 8 年 2 月 7 日	全国教育研究協議会

※第 72 回 全国ビジネス計算競技大会は、本年度と同じ横浜武道館での開催を予定。

7. まとめ

今回の会議では、検定試験の公平性向上、効率化、受験環境の改善が主要テーマとなった。特に CBT 導入、採点基準の明確化、競技大会の運営改善が今後の課題として挙げられた。教育現場の意見を反映し、より実務に役立つ試験制度の構築が求められる。

令和 7 年 2 月 8 日(土) Web 開催